

フランスの育児雑誌におけるケアと父親・カップル像 —日本の育児雑誌との比較から

石丸 久美子（京都外国語大学）

本発表では、日仏両国ともに男性の育児参加が求められる昨今、フランスの育児雑誌におけるケアと父親・カップル像を考察し、日本の育児雑誌と比較する。筆者のこれまでの拙稿からも、メディア言説にはそれぞれの国民が抱く考え、価値観などが強く投影されていると考えられる。ゆえに、本研究では、それぞれの社会における男性の育児参加、カップルの関係、育児・ケア概念がどのように雑誌で提示され、さらに、どのように現実社会が反映されているかを記号学的、言説分析的観点から分析した。

調査にあたっては、フランスで最も発行部数の多い育児雑誌であり、妊娠から 0～10 歳の育児を扱う *Parents* を分析対象とした。残念ながら日本とフランスで同じ年齢層の子どもの育児を扱った雑誌がないことから、日本の雑誌は、妊娠から未就学児までの育児に関するものではあるが、最も発行部数の多い『たまごクラブ』『ひよこクラブ』を比較として用いた。

問題提起としては主に以下の三点が挙げられる。1. 日仏雑誌における共通・相違点、それぞれに特徴的な点とは何か。2. 育児雑誌において父親やカップルはどのようなイメージで描かれているか。3. 育児雑誌の記事・広告内容は社会をどの程度反映し（例えば、フランスにおける父親の育児休業、ひとり親家族、再構成家族など）、その社会における育児というケア概念をいかに構築しているのか。

以上のような問題提起を持ちつつ、本研究では育児雑誌において父親が出てくる記事・広告を主に抽出し、分析を行った。

参考文献

石丸久美子 (2019) 「日仏育児言説比較—雑誌記事・広告の内容分析を通して—」『研究論叢』、93 号、京都外国語大学、15-26 頁。

石丸久美子 (2020) 「フランスにおける子育て意識—育児雑誌言説分析と日本との比較の観点から」、北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念事業会編『CORRESPONDANCES (コレスポンドランス)』、朝日出版社、677-689 頁。

天童睦子・高橋均 (2011) 「子育てする父親の主体化—父親向け育児・教育雑誌に見る育児戦略と言説—」『家族社会学研究』、23 (1)、65-76 頁。

ドミニク・マングノー (2018)、『コミュニケーションテキスト分析—フランス学派によるメディア言説分析への招待』(石丸久美子・高馬京子訳)、ひつじ書房。